

新年度を迎え 中央執行委員長メッセージ

「共に創る」県職労運動の確立へ



中央執行委員長
小田嶋 智昭
(北上支部・県南局北上土木センター)

2022年度がスタートしました。組合員の皆様におかれましては、慢性的な人員不足の中で日々の業務に従事に加え、新型コロナウイルス感染症対策への直接・支援対応、東日本大震災や台風災害等からの復興業務など、常に県民に寄り添う業務に奮闘されていることに、あらためて敬意を表します。

さて、私たちの職場は東日本大震災前の10年間で1200人を超える定数削減が行われました。復旧・復興時の厳しい経験にも関わらず、その後の気象災害や感染症対策においても「横断的支援体制」が唱えられ、当局はマンパワー不足の課題を職員努力で乗り切るよう強い続けています。

私たち労働組合は、生活の糧となる賃金や休暇・権利の獲得、向上だけでなく、こうした一つひとつの職場環境の改善に取り組んでいます。職制を通じた訴えでは速やかな改善が難しい課題でも、組合を通すことで直接的かつ迅速に改善につなげられることが、労働組合運動の最大の強みです。

職場の全員が組合に結集いただき、働く者全ての声として届けていくことが極めて重要です。そのためにも、新年度、まずは新採用者をはじめとする組合加入促進に、県職労役員・職場の全組合員が一体となって取り組んでいきましょう。

今年度は、昨年度の一時金削減分を含めた賃金水準改善と段階的定年延長開始に向けた諸条件整備、参院選組織内候補予定者「鬼木まこと」必勝の取り組み等、重要課題が山積しています。が、「共に創る」県職労運動の確立へ、組合員の皆様と結集をお願いします。



月2回刊=1599号
2022年4月15日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所
盛岡市内丸10番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所
盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジロー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

2022春闘

賃上げ回復を強く要求

3・22 公務員連絡会 人事院総裁交渉

3月22日、公務員連絡会 は、人事院・川本総裁と交渉を行った。

①賃金情勢に関し、川本総裁は、「製造業は昨年を上回る水準での回答も見られているが、製造業以外は明らかでない」としたうえで、「民間動向を注視し、官民較差をもとに適切に対処」との姿勢にとどまった。

②勤務時間制度の在り方については、「『テレワーク等の働き方に対応した勤務時間制度等の在り方に関する研究会』で検討中」との言及があった。在宅勤務の本格化を見据え、人事院報告に向けた具体的な検討が加速すると想定される。

交渉団から、「現時点で民間春闘は昨年を上回る賃上げ方向。労使の努力が実ったもの。人事院は現場で奮闘する職員の労苦に報いる賃金・労働条件の確保を行うべき」と求めた。

公務員連絡会は、不満はあるも、22人勧闘争に向けた基本姿勢として受け止める。賃金改善を

4月5日、連合は22春闘の交渉妥結状況を公表した。賃上げ(月額給与)の加重平均は、6.319円・2.11%の賃上げが実現。一時金は年間4.94月と昨年比0.24月のプラスの集計状況。もともと、製造業は好調である

るとし、闘争体制を堅持する声明を公表、春闘期での交渉を終結した。

働きの価値に見合った賃金改善を

4月5日、連合は22春闘の交渉妥結状況を公表した。賃上げ(月額給与)の加重平均は、6.319円・2.11%の賃上げが実現。一時金は年間4.94月と昨年比0.24月のプラスの集計状況。もともと、製造業は好調である

2022年度 新役員・専従役員紹介



副中央執行委員長
小澤 豊和 (非専従)
(県庁支部・資源循環推進課)



副中央執行委員長
佐々木 辰治 (専従)
(県庁支部・建築住宅課)



書記長
佐々木 真由美 (専従)
(盛岡支部・盛岡局県税課)



書記次長
藤村 秀樹 (非専従)
(県庁支部・都市計画課)



中央執行委員
須藤 開 (専従)
(釜石支部・沿岸局水産部)

県職労は3月5日第1回中央執行委員会を開催し、2022年度の専従役員体制を確認した。

4月からの専従役員は

佐々木辰治副中央執行委員長、佐々木真由美書記長、須藤開中央執行委員の3名として確認した。

4月1日からは、小田嶋智昭新中央執行委員長を筆頭に、組合員が健康で安心して働き続けられるよう職場環境の改善を求め、県職労運動を進めていく。

ロシアのウクライナ侵攻から1月以上が経過した。日本をはじめ世界各国でロシアの侵攻に反対・ウクライナに連帯する運動や難民への支援の輪が広がっている。平和は人類が希求する最も崇高かつ普遍的な価値だ▼岸田首相もロシアを非難し、平和を取り戻すべく取り組んでいること自体は我が国の姿勢として当然のことだ。平和憲法前文には「平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しよう」と努めている国際社会において、名誉ある地位を占めたい」としており、まさに日本の真価が問われる▼一方で平和憲法に自衛隊を明記する改憲を加速すべき、日本への侵攻に備え防衛費の拡充を、核共有を議論すべきなどと主張する元首相が。さらに護憲を主張する論者に対して「思考停止」と主張するなど、ロシアの侵攻を好機ととらえて改憲に前のめりの主張も▼武力で平和な世界を取り戻すことはできない。過去の戦争の教訓に学ぶべきである。5月3日は憲法記念日。ウクライナへの侵攻問題を契機に、平和憲法を振り返り、未来がどうあるべきか展望するゴールデンウィークにしていこう。

第93回岩手県中央ミーデー

◆日時 2022年5月1日(日)
10時30分～11時30分

◆場所 盛岡城跡公園(岩手公園)

※各地区ミーデーの開催は各支部書記局へお問い合わせください。

LINEで友だちになってください!

週に1~2回、情報発信しています。

鬼木おにき まこと

新採用職員136人が各所属へ 組合員からの声掛けが鍵

4月 各支部で新採用歓迎昼食会

新年度を迎え、各所属に新採用職員が着任した。各支部では先輩組合員からの声掛けと、組合の役割や活動内容を集約した新採用加入促進DVD及びパンフレットを用いて丁寧に説明し、新採用職員への加入促進に全力を挙げている。4月上旬には二戸、久慈、宮古、県庁の4支部が新採用歓迎昼食会を開催した。支部の取組例を紹介する。



▲二戸支部での歓迎昼食会のようす



▲久慈支部での歓迎昼食会のようす



▲宮古支部での歓迎昼食会のようす



▲県庁支部での歓迎昼食会のようす

4月5日、二戸支部は保健福祉環境部を対象に新採用歓迎昼食会を開催した。伊藤二戸支部書記長から歓迎のあいさつ、その後、組合紹介DVDを使って説明を行った。先輩組合員のメッセージとして、「くみあい」は、これから職場で仕事を進めていくうえで様々な相談や困った時の支えになる事、人事異動では人事課に対し「くみあい」からあなたの希望や諸事情を伝えてくれる人事異動対応していることが分かった。

4月6日に久慈支部は出納局及び保健福祉環境部の新採用職員に対し歓迎昼食会を開催した。久慈支部西家青年婦人部長より歓迎の挨拶、2022新採用向けDVDを上映しその後、先輩組合員から自身の組合加入した理由やセット共済等の良さについて触れた。参加した新採用職員からは「お給料の引き上げやコロナ対応に人員配置の声を上げてほしい」との意見を述べた。参加した新採用職員からは、「労働組合は加入するもの」との意識を伝えた。参加した新採用職員からは、「労働組合は加入するもの」との意識を伝えた。参加した新採用職員からは、「労働組合は加入するもの」との意識を伝えた。

4月の定期人事異動に伴い、分会体制も新しい体制に移行することになります。年度初めの忙しい時期ですが、県職労運動の「かなめ」となる分会体制の確立は重要なことから、早めの役員選出をお願いします。県職労運動の基本は、組合員一人ひとりの声を聞きやすい職場環境へ反映させていくことです。そのためにも、職場に最も身近な「分会」組織は極めて重要です。分会は、本部・支部からの情報伝達だけではなく、職場の声を吸い上げる位置づけを持ち、分会体制があれば、職場の問題に素早く対応でき、職場要求

等々の感想をいただき、4名中2名から加入届が提出された。4月7日、宮古支部では合庁内に配属された新採用職員を歓迎するため、昼食会を開催した。当日は保健福祉環境部の新採用職員に対して開催し、高芝副支部長から歓迎の挨拶、その後、参加組合員の紹介と2022新採用向けDVDを上映した。本部佐々木真由美書記長からパンフレットに沿って休暇制度や人事異動対策等について説明し、「組合は加入するもの」との意識を伝えた。参加した新採用職員からは、「労働組合は加入するもの」との意識を伝えた。参加した新採用職員からは、「労働組合は加入するもの」との意識を伝えた。

の役割だけでなく、保険等の利点を知ることができた」と感想をいただき、5名中2名から加入届が提出された。配属数38人と新採用職員が最も多い県庁支部では4月8日、青年婦人部が主体となつて、政策地域部・保健福祉部の採用者を対象に、県公会堂で歓迎昼食会を開催した。県庁支部岡本青年部樋口副青婦部長より組合の取組成果や参加した若手先輩組合員から組合に加入

してたくさん友達が増えたこと等、組合の良さを伝えたい。参加した新採用職員にアンケートも実施し、「労働組合について知るきっかけになった」、「思ったよりも固いものではないと感じた」など感想が寄せられ、和やかな雰囲気となった。年度初めの新採用職員研修では本部主催のガイダンスを第1期に2回、第2期に2回の計4回開催し、本日も加入促進に力を注ぐ。研修から戻った際も加入促進の重要なタイミング。支部・分会であと一押しの声掛け及び新採用職員へのサポートをお願いします。

盛岡市議会議員 野中やすし 議会報告

市議会三月定例会を振り返って コロナ家族感染対策・支援制度拡充を

県職労の皆様、日頃のご指導、ご支援に感謝申し上げます。私は、まだ一期生ながら、委員会の「副委員長」の任に当たったところです。新型コロナウイルスは、ワクチン接種が行われていない子ども達の間で一気に感染拡大が進み、その結果、家族で策カードの取り組みなどに新採用職員に積極的にアピールした。4月6日に久慈支部は出納局及び保健福祉環境部の新採用職員に対し歓迎昼食会を開催した。久慈支部西家青年婦人部長より歓迎の挨拶、2022新採用向けDVDを上映しその後、先輩組合員から自身の組合加入した理由やセット共済等の良さについて触れた。参加した新採用職員からは「お給料の引き上げやコロナ対応に人員配置の声を上げてほしい」との意見を述べた。参加した新採用職員からは、「労働組合は加入するもの」との意識を伝えた。参加した新採用職員からは、「労働組合は加入するもの」との意識を伝えた。



長期療養者の状況
14日以上の長期療養者は2月末時点で165人であり、うち精神疾患の療養者

第3回職員労働安全衛生委員会 精神疾患増加の一途に対策急務

要望実現 会計年度任用職員がん検診対象へ

2021年度事業(拡充)
再度任用となる会計年度任用職員(任用期間1年かつ週概ね19時間以上勤務)を対象に、2022年度からがん検診の対象とする。がん検診は、会計年度任用職員の意見をもとに県職労から対象とする

内訳	2016	2017	2018	2019	2020	2020(2月末)	2021(2月末)
療養総人員	61	57	78	106	110	105	103
療養総日数	5,715	6,779	9,343	12,017	11,812	11,481	14,753
療養平均日数	93.7	118.9	119.7	113.4	107.4	109.3	143.2
療養実人員	53	52	72	100	98	94	96
年齢	29歳以下	13	15	21	30	23	32
	30歳代	6	7	13	20	19	20
	40歳代	15	17	23	28	37	28
	50歳以上	19	13	15	22	15	16
性別	男	38	38	52	75	78	65
	女	15	14	20	25	16	31
地区	本庁	12	18	27	34	35	28
	出先	41	34	45	66	59	68

人事異動等で住所が変わったら「住所変更届」の提出を忘れずに!
県職労では独自の共済制度として、「総合共済」制度を設けており、組合員全員が給付対象となつています(準組合員甲を含む)。この総合共済では、住宅災害に対する給付も行っており、対象となる住宅を明確にするために正確な住所登録が必要です。住宅が変わったにも関わらず住所変更の手続きが行われていない場合、住宅災害給付を受けることができませんので、ご注意ください。

このような事態を避けるため、住所が変わった場合は速やかに「住所変更届」を各支部書記局に提出してください。(単身赴任の場合は、原則として家族が居住している建物を生活の本拠地とします。ただし、申し出により赴任地の居住場所を生活の本拠地として登録することができます。)届出用紙は各支部書記局にありますので、速やかに手続きいただくようお願いいたします。

「分会体制確立」は運動の「かなめ」
～異動後の役員選出も速やかに行いましょう～
特に、新採用職員が配置される職場や採用2・3年目の若手職員は、職場環境の変化から不安を抱えながら新年度を迎えています。コミュニケーションをとり安心して業務に従事できるように組合組織として支えていく必要があります。全ての職場で安心して働ける環境をつくるためにも、分会体制の早期確立をお願いします。体制が確立したら、最寄りの書記局へ報告をお願いします。